

# 学内における学生と教員の円滑な コミュニケーション支援機構の構築

渡辺ゼミ

4年 0840222 渡邊 千尋

# 結論1

## 構築した4つの機構により、学生と先生の より円滑なコミュニケーション支援を実現した

### ●4つの機構

- 居場所共有掲示板
- QRコードを利用した居場所管理システム
- メール代理送信システム
- 予定一覧

### ◆主軸

- 学生の要望と先生の事情の双方を考慮



## 結論2

### 本機構の構築にあたっては 人と人のコミュニケーションを重視

#### ◆互いへの気づかいが必要

➤これを前提としたコミュニケーション補助機構

■学生へ：先生は忙しいとわかった上で接触すべき

■先生へ：本当に困って先生を必要としている学生がいる

学生の要望を先生に押し付け、時間や労力を  
一方的に奪おうとするものではない



# 背景・目的

## ◆背景

- 学内で先生に用事があるとき
  - 授業外に先生に接触するのは困難
    - 居場所がわからない・連絡先がわからない
- 大学の先生は多忙
  - 授業・研究・学務・その他...
    - 個人的に学生に使える時間は限られる

## ◆目的

- 学生と先生の円滑なコミュニケーションを支援
  - 学生の要望と先生の事情の双方を考慮



# 学生と先生の交流に関する現状調査

## 1. 学生へのアンケート

- 対象：政策情報学部学生

- 学内で先生と直接接触する必要性
- 先生と接触する際の悩みや不満の有無

## 2. 先生へのインタビュー

- 対象：政策情報学部の先生

- 学生との交流についてどのように思っているか



# 1. 学生へのアンケート調査

## ◆「キャンパス内において

先生と直接会う必要性についてのアンケート」

## ◆対象：政策情報学部 学生 165名

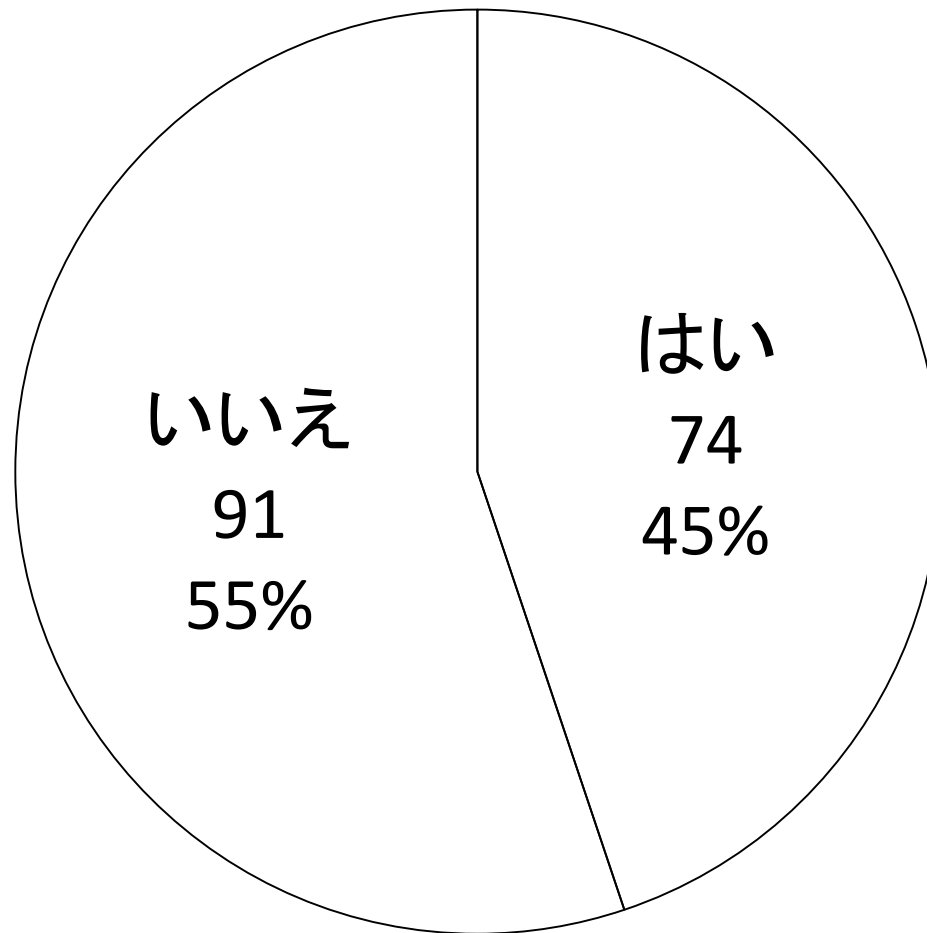
## ◆質問項目

- 授業外で先生を探したことがありますか？
- 先生と接触する上での苦労や不満、改善して欲しい事（自由記述）



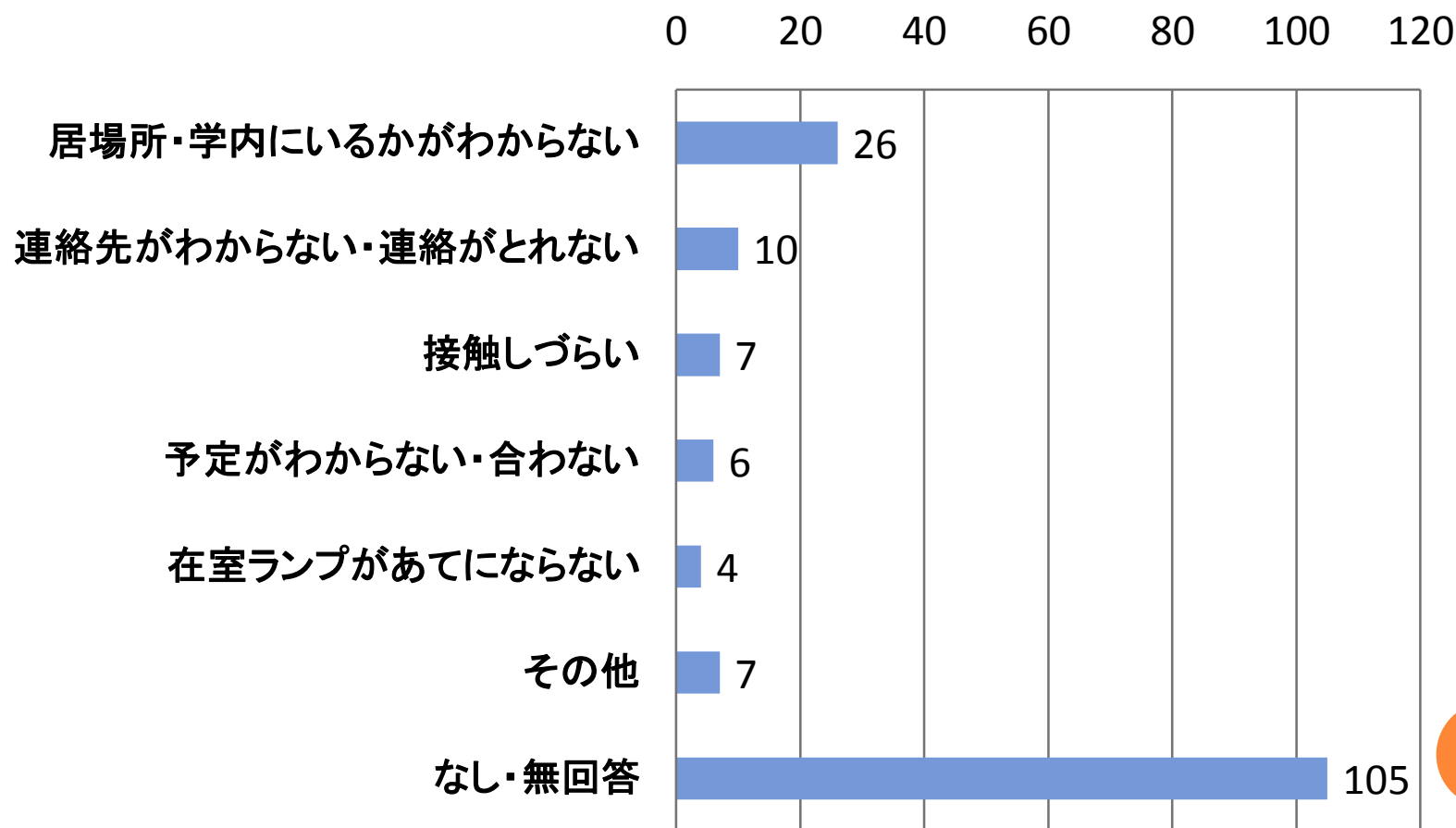
# アンケート結果1

【授業外で先生を探したことがありますか？】



## アンケート結果2

【先生と接触する上での苦勞や不満、改善して欲しい事(自由記述)】





# 問題点

学生にとって、先生に関する情報が圧倒的に足りないことが大きい

## ◆解決すべき問題点

- 居場所がわからない
- 連絡先がわからない
- 予定がわからない



## 2. 先生へのインタビュー

### ◆共通した意見

- いつでも時間がとれるわけではない

- 忙しいときに捕まえられても応じられない

- 用件によって対応も変わる

- 手続きをする、真面目な用件の学生には対応したい

- 礼儀をわきまえない学生の面倒までは見られない



# 解決法の検討

## ◆居場所共有掲示板

- 先生の居場所を掲示板で共有し、先生を探す手掛かりに

## ◆QRコードを利用した居場所管理システム

- 先生に現在の居場所を送信してもらう

## ◆メール代理送信システム

- メールアドレスを知らなくても先生にメールを送れる仕組み

## ◆予定一覧

- 先生ごとの授業やオフィスアワーなどの予定を表示し、  
学生が予定を把握しやすくなる



# 考慮すべき要件

## ◆先生の許可

- 許可のとれた先生の情報のみを公開する

## ◆情報の正確性・新しさの維持

- 常に情報が正しく・新しいか

## ◆安全性の考慮

- システムを悪用される可能性

## ◆実用性

- 学生の要望を満たし、

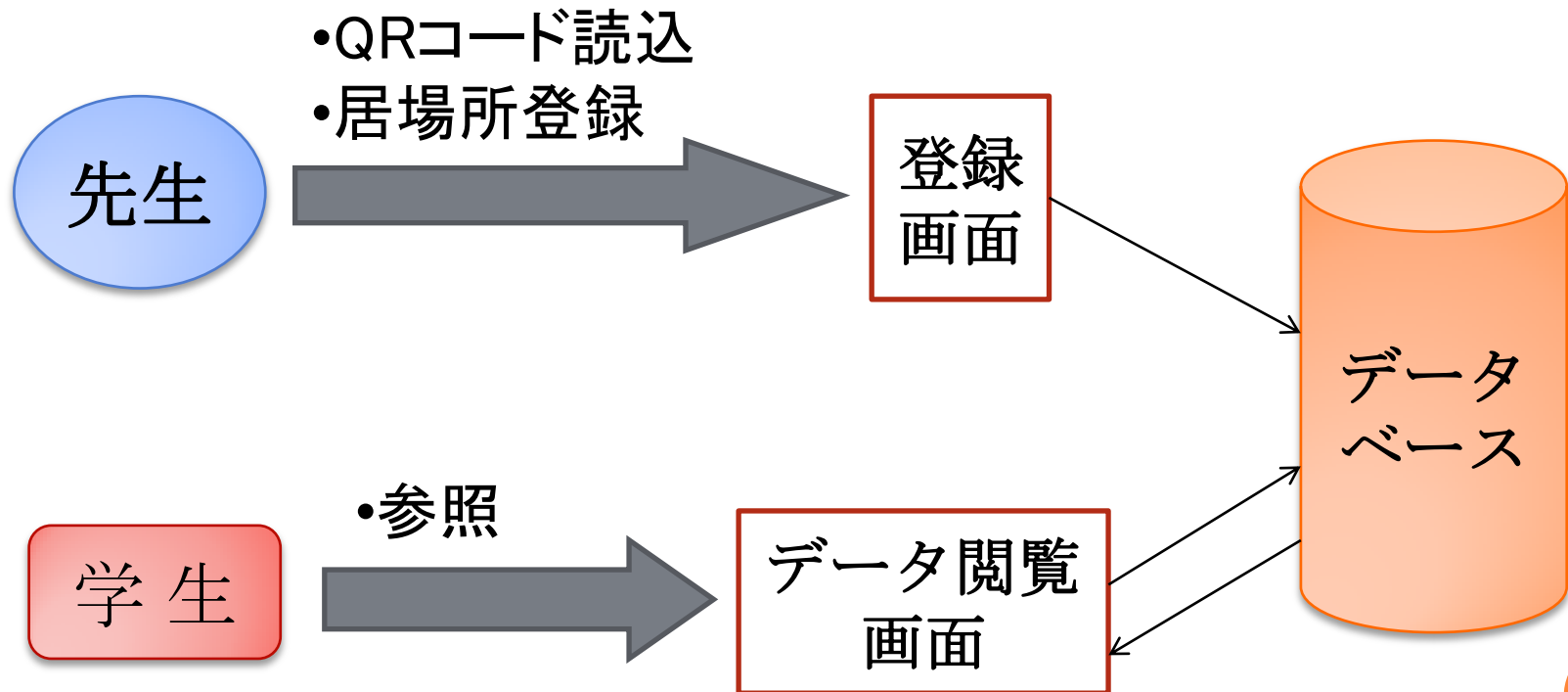
先生が許容できる範囲の負担であること



# システムモデル

## ◆QRコードを利用した居場所管理システム

➤先生に現在の居場所を送信してもらう



# 実装（QRコードを利用した居場所管理システム）

## ◆QRコード表

QRコード

1号館	3号館	6号館	7号館
			
会議	研究室	その他	不在
			

### 【使い方】

この紙を持ち歩き、その場を離れる際に、  
次に向かう場所のQRコードを読み込み居場所を登録して下さい。

## ◆登録



39

日付：2012-01-12 17:17:23

名前：渡辺恭人

場所：3号館

# 運用実験(QRコードを利用した居場所管理システム)

## ◆対象：政策情報学部の先生

- 期間：10日間(2012/1/9～2012/1/18)
- 人数：2名

## ◆方法

- QRコード表を持ち歩き  
移動するとき、次に向かう場所を登録してもらう



# 評価の方法

## 1. 先生による運用実験とインタビュー

- 対象：政策情報学部先生2名

- 利用した感想

- 改善案

## 2. 学生へのアンケート

- 対象：政策情報学部学生12名

- 利用した感想

- システムの長所・短所





# 1. 先生による運用実験とインタビュー

## 【共通した意見】

- 難点：QRコード表を持ち歩く必要がある
  - なくしてしまった
  - なくさないために研究室に置いておいた
- 登録するのを忘れてしまう
  - 登録のしやすさに欠ける
- 登録方法に選択肢が欲しい
  - 登録用システムを教室ごとに設置
  - 会議など学生が手に入れにくい情報だけを登録



## 2. 学生へのアンケート

### 【特に多かった意見】

先生が情報提供を行えばリアルタイムで便利  
行わなければ機能しない

### 【システムの長所】

- 先生による情報提供のため  
信頼性がある

### 【システムの短所】

- 情報提供をすることが先生  
の負担になるのでは
- 登録用URLをブックマークし  
てもらう方が手軽



# 考察（QRコードを利用した居場所管理システム）

【先生】 QRコードを読み込み、現在の居場所登録が可能に

【学生】 情報を閲覧し、先生の居場所を知ることが可能に

## ◆改善点

➤先生の負担を減らし、登録しやすく

- 難点：QRコード表を持ち歩く必要がある
- 登録を忘れてしまう
- QRコードを使うことへの疑問



登録のしやすさを重視した方法が必要



# 評価(まとめ)

- ○ 満たされている
- × 満たされていない
- △ 満たされている部分、満たされていない部分がある

	先生の許可	情報の正確性	情報の新しさ	安全性の考慮	実用性
居場所共有 掲示板	○	×	×	○	△
QRコードを利用 した居場所管理 システム	○	○	△	×	△
メール代理 送信システム	○	△	○	×	×
予定一覧	○	○	○	○	△

# 評価（QRコードを利用した教員の居場所管理システム）

## ●情報の正確性 ○

- 先生が自分の居場所を登録するため信頼性が高い

## ●情報の新しさ △

- 先生が頻繁に登録を行えば常に新しい情報を得られる
- 頻繁に登録を行うことは難しい

## ●安全性の考慮 ×

- QRコードがあれば誰でも登録できる

## ●実用性 △

- 学生：先生が居場所登録を行えば非常に便利
- 先生：登録を忘れてしまいがちである



# 考察(全体)

- 4つの機能を合わせることで、先生への接触可能性は上がる
  - 1つのシステムから得られる情報は限られている
- 先生の協力を得る必要
  - 今回は情報公開を容認できる先生についての実装
  - より多くの先生から協力を得る



# 今後の課題

- 更なる改善

- 登録のしやすさを重視したシステム
- 本人認証による安全性の確保

- システムを利用、協力してもらうための周知活動

- 目的はあくまで

「学生と先生のより円滑なコミュニケーションの実現」

- より学生の要望と先生の事情の双方を考慮した機構の実現へ

